

「江戸時代と丸亀藩」

宇多津中学校 提案者 谷 優里

1 実施学年 中学校2年生

2 学習のねらいと博物館の活用との連携について

(1) ねらい

本単元は、学習指導要領の歴史的分野(3)近世の日本の以下にもとづいて設定した。

- | |
|---|
| (ウ) 産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解すること。
(エ) 社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解すること。 |
|---|

江戸幕府は、武家諸法度の制定や禁教令によって、大名統制を成功させ、長期の徳川幕府体制を確立した。中期から後期にかけて幕府財政が不安定になる中、各藩も財政安定は喫緊の課題であった。幕末に雄藩と呼ばれる藩などは、産業や交通の発達、学問や文化の広がりによって、独自の政策のもと財政の立て直しを成功させた。この政策内容を学び、方法を今に生かそうとするにあたり、他地域の藩の政策よりも、地元の藩の政策を知る方が身に入りやすく、現代の生活との関わりを感じやすいのではないかと考えた。そこで、香川県立ミュージアムの学習教材「丸亀藩の参勤交代」を中心に使用し、より身近に江戸時代の藩の発展・財政政策を理解させたい。

(2) 活用した資料

- ・「丸亀藩の参勤交代」(香川県立ミュージアム学習教材)
- ・「丸亀京極家一名門大名の江戸時代」(香川県立ミュージアム)
- ・丸亀市ホームページ > 観光スポット > 金毘羅街道
- ・四国新聞ホームページ > 金刀比羅宮美の世界
- ・東京とりっふ <https://tokyo-trip.org/power-spot/marugamehan/> 等

3 学習指導計画(9時間)

- | | | |
|------------------|-------|--------------|
| (1) 農業や諸産業の発達 | | 1時間 |
| (2) 交通網の整備と都市の繁栄 | | 1時間 |
| (3) 幕府政治の安定と元禄文化 | | 1時間 |
| (4) 享保の改革と社会の変化 | | 1時間 |
| (5) 田沼の政治と寛政の改革 | | 1時間 |
| (6) 新しい学問と化政文化 | | 1時間 |
| (7) 外国船の出現と天保の改革 | | 2時間(本時1/2時間) |
| (8) 近代日本とは | | 1時間 |

4 学習指導過程

学習内容および学習活動	教師の支援活動や留意点
<p>1 『丸亀藩の参勤交代』を提示する。 「いつ」「どこで」「何をしている」様子なのかを自由に話し合わせる。 【4人班】</p> <p>2 参勤交代の目的と影響を復習する。</p> <p>3 『1843年の丸亀藩の参勤交代』を提示し、日数や経路を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 香川県のものだけ伝えておく。 ○ 船の模様や、背景の描写をよく見るよう声掛けをする。 ○ 班活動後、丸亀藩の参勤交代を描いたものだと伝える。 ○ 幕府の大名統制の役割を果たしたことや、都市や交通の発展につながったことなどを押さえる。 ○ 長い日数や多額の資金が必要であったことを知り、藩財政が逼迫していたことを押さえて、学習課題を提示する。
<div style="border: 3px double black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>丸亀藩はどのように藩財政を立て直したのだろうか？</p> </div>	
<p>4 予想する。 【個人】</p> <p>5 検証する。各班にAまたはBの資料封筒を渡す。 【4人班】</p> <p>A 『江戸の大名配置図』『江戸名勝図会 虎の門』などを使用する。</p> <p>B 『こんぴらさんへの道しるべ』『丸亀うちわ』などを使用する。</p> <p>6 班の意見をまとめ、全体で共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 予想ができない生徒には、丸亀市で有名なものを考えるよう助言する。 ○ 学習課題の提示までの時間が短くなるようなら、各班A・B両方の資料を検証させる。 ○ 「金毘羅大権現」の文字から、香川の金毘羅さんを思い浮かべるが、京極家の江戸上屋敷に金刀比羅宮があることに気付かせる。当時はこんぴら参りが流行していたことから、江戸に金毘羅大権現を分祀すると、多くの参拝客に恵まれ、収入が得られたことをつかませる。 ○ 丸亀うちわにある「金に○」の模様は、金刀比羅宮の紋様であることに気付かせる。『丸亀藩の参勤交代』の中で丸亀城の右奥に象頭山が見えることから、丸亀港から金刀比羅宮までの参道が整備されていたことを理解させる。参拝客への土産物としてうちわの生産を藩が奨励し、多くの武士が内職としてうちわを生産して、収入を得るようになったことをつかませる。
<p>7 学習課題に対するまとめを自分の言葉で書く。 【個人】</p> <p>8 振り返りシートを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時間があれば、江戸で屋敷が近かった大村藩からうちわの技法を学んだ京極藩主が、武士の内職にと領地に持ち帰ったというエピソードにも触れる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>丸亀藩は江戸でうちわ作りの技法を得て、藩士のうちわ作りを奨励し、こんぴら参りの土産物として収入を得たり、江戸屋敷に金毘羅大権現を祀り、多くの参拝客を呼んで収入を得たりして、藩財政の立て直しを図った。参勤交代による財政逼迫を、江戸の滞在や優れた海運を利用し、お宮参りと土産物の奨励によって解決しようとしたと言える。</p> </div>	